

ギャンブル依存症セミナー・当事者家族相談会

全国ギャンブル依存症家族の会 京都
〒630-8325 奈良県奈良市西木辻町 63-23-106

助成事業の概要

2025 年 10 月 18 日、京都市内の西陣織会館において「ギャンブル依存症セミナー in 京都・家族相談会」を開催しました。本事業は、ギャンブル依存症という病気に関する正しい理解を広めるとともに、行政や医療の支援だけでは届きにくい立場にある当事者や家族に寄り添い、必要な支援につなげることを目的としています。

当日は、まず当事者による体験談「ギャンブル依存症からの回復」、次いで家族体験談「向き合うことで見えた希望」を行い、当事者と家族それぞれの視点から依存症の実態と回復の過程を共有しました。その後、鶴身孝介医師（依存症専門医）による依存症の医学的理解に関する講演、田中紀子氏（公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会 代表）による講演を実施しました。さらに、高知東生氏と田中紀子氏によるトークセッションでは、参加者とともに深い理解を促す時間となりました。

セミナー終了後には、個別に悩みを抱える家族へ「家族相談会」を実施し、状況整理や具体的なアドバイスを行いました。同会場では当事者会も同時開催し、当事者同士が回復に向けてつながる機会を提供しました。結果として、議員 5 名を含む一般参加者 155 名（うち当事者 36 名、初参加の家族 9 名）が来場し、地域社会への大規模な啓発と支援のきっかけづくりにつながりました。

事業の成果

今回のセミナー・相談会には、議員 5 名を含む 155 名が参加しました。内訳は、当事者 36 名、家族・支援者・行政関係者など 119 名で、そのうち 9 名は初めて家族会に参加した方でした。アンケートでは、満足度「とても満足」「満足」が 100%を占め、「依存症は意志の問題ではなく病気であると理解できた」「実際の支援場面を寸劇で見られて勉強になった」「家族会につながることの重要性が分かった」など多くの前向きな意見が寄せられました。また、「当事者や家族が一日でも早く支援につながれるよう啓発を続ける必要性を感じた」といった声もあり、今回の開催意義の大きさを改めて実感する結果となりました。

鶴身孝介医師の講演では、依存症が脳の疾患であることや早期治療の重要性、家族の関わり方のポイントが医学的観点から丁寧に解説されました。続く田中紀子氏の講演では、家族会やギャンブル依存症問題を考える会がどのように依存症者と家族を支援しているのか、具体的事例や寸劇を交えて紹介され、来場者の理解を一層深めました。さらに、高知東生氏と田中紀子氏のトークセッションでは、高知氏自身の回復過程や社会の偏見、制度的課題が率直に語られ、会場から大きな共感と温かい拍手が寄せられました。

セミナー終了後の家族相談会には 4 組が参加し、家族の対応等について個別支援を実施しました。その結果、複数の家族が後日当会や自助グループにつながるなど、具体的な支援成果が得られま

した。また、行政・医療・司法関係者とのネットワーク強化にもつながり、地域での支援体制づくりに向けた重要な一歩となりました。今後は、若年層へのアプローチや他地域への展開をさらに進め、行政・医療・司法・市民が連携し、依存症回復を長期的に支える体制整備をより一層強化していきます。

■ 成果の広報・公表

セミナーの様子や講師の講演内容は、当会の公式ホームページおよび SNS（Instagram・X）で報告記事として公開しました。各講演のポイントや体験談、トークセッションの内容を写真や文章で詳しく紹介することで、会場に来られなかった方にも理解や関心を深めてもらえる貴重な機会となりました。また、当日実施したアンケート結果を丁寧に集計・分析し、参加者の満足度や意見を次回以降のセミナー企画やプログラム改善に反映させていく予定です。これらの広報活動により、全国ギャンブル依存症家族の会京都への新規問い合わせが増加し、依存症や支援活動への関心が地域内外で高まっています。今後も、SNS やウェブを通じて情報発信を一層強化し、より多くの当事者や家族が支援につながる機会を創出するとともに、社会全体で依存症回復を支える環境整備をさらに推進し、誰もが孤立せずに安心して相談できる体制づくりを目指していきたいと考えています。

■ 今後の展開

本事業で得られた成果を踏まえ、今後は年 2 回のセミナー開催と、地域ごとの家族相談会の定期実施を目指します。特に、若年層の依存傾向が深刻化している現状を受け、学校や大学での予防教育や出前講座の実施も検討しています。また、

家庭内で小さな子どもを抱える家族が参加しやすいよう、保育体制の拡充も進めていく予定です。今回のセミナーで得た知見や構築したネットワークを活かし、行政・医療・司法・地域団体と連携して、依存症からの回復を支える社会的基盤の整備をさらに広げていきます。さらに、地域住民や関係機関への啓発活動も並行して強化し、ギャンブル依存症に関する正しい知識を一般の方々にも広く知っていただき、社会全体で理解される環境を整えることを目指して、今後も継続的かつ計画的に活動を推進してまいります。そして、より多くの方々に参加していただけるよう、情報発信や広報活動も一層充実させ、より幅広く支援の輪を広げていきます。